



サイジャーナル

月刊
3-11-12
第460号

日本サイ科学会 令和3年11月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミス金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569-FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216-FAX 092 (846) 8200
--	---	---	---	---

十二月本部例会のお知らせ

日時 令和3年12月19日(日)
午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)
一般三千円 学生一千円

講演
ESSPやPK現象を脳波で
解明する！

講師 志賀一雅氏

ESSPやPK現象は現代科学ではそのメカニズムが十分に解明されないまま未科学現象として好奇の対象だけで片づけられています。しかし日常生活ではESSPやPK現象を頻繁に活用しているのですから、計測可能な脳波を介在させて現象の解明を試みてきました。その結果、電離層にあるヴァンアレン帯のプラズマ振動によって発生する4種類の電磁波(7.8Hz、

13.6Hz、19.8Hz、25.4Hz)と脳波に含まれる周波数とが共鳴したことが分かりました。ちょうどアシックレコードのようにヴァンアレン帯が情報のクラウドになりエネルギーの供給源にもなっているようです。講演では実際に計測したいいくつかのデータをご覧いただきご討議いただきたく思います。

※志賀一雅氏はご自分で開発された脳波測定器で永年、多くのスポーツ選手、芸術家、瞑想家、能力者の脳波測定をされ、その独自の分析により、多くの発見をされ、論文も書かれております。また多くの有名な企業のスポーツチームのメンタルトレーニングにも貢献されております。気さくでお話も大変分かりやすい先生ですので、会員の皆様はご友人、知人をお誘いして是非ご参加ください。

◎志賀一雅氏のプロフィール
1937年 東京生まれ
1961年 電気通信大卒 松下電器入社
1976年 東大工学部計数工学科でα波研究(次頁に続く)

今月号の記事

- ◎十二月本部例会のお知らせ
- ◎年会費未納入の会員の皆様へ
- ◎新刊書紹介
- ◎関西日本サイ科学会11月～1月研究集会のお知らせ
- ◎第44回宇宙生命研究分科会予告
- ◎第6回占星学と運命創造学の研究分科会のお知らせ
- ◎令和3年度通常総会の報告
- ◎令和2年2月本部例会の報告I
- ◎第四六〇回関西サイ科学会報告
- ◎第四六一回関西サイ科学会報告
- ◎本部例会ビデオ映像販売
- ◎サイ(気)は、念力(PK)時に体外に放出されて意識体を作る
- ◎科学や科学技術の進歩・発展について新型コロナ禍の中で考える

◎年会費未納入の会員の皆様へ
「サイジャーナル3、4月号」に年会費納入用の郵便振替用紙を同封致しましたが、まだ未了の会員の方がいらっしゃいます。
日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりまして、現在会計も厳しい状況ですので、是非早めのお振り込みをよろしくお願い致します。

1983年 松下電器退社 脳力開発研究所設立

現在 日本サイ科学会理事、日本医療催眠学会顧問。

著書 奇跡の《地球共鳴波動7.8Hz》のすべて(ヒカルランド)他多数

※十一月の本部例会はお休みです。

★新刊書紹介

竹本良著「宇宙人革命」(青林堂)

学生時代からUFO問題に係わってきたので、もうかれこれ45年にもなる。何冊か共著はあるものの、単独で書いた著作はなかった！故に本書はいわば処女作となる。UFO関連の記事や論文を書くようになったきっかけ？

それは早稲田大学卒業の際も就職活動を全くせずUFOやオルゴンエネルギーの研究に明け暮れていた私が、森脇十九男先輩と共同執筆した論文「ダモクレスの時代を超えて」が月刊ペン誌1979年6月号(5/5発売)に掲載さ

れたことによる。当時住んでいた下北沢には幾つか本屋さんがあったが、一番近くの小さな本屋さん「ナント」数学者広中平祐先生のご関係の書店で、「あの、広中先生に渡していただけないでしょうか？」という、「お兄さんに渡せばいいのね？」と処女論文掲載号を受け取られた。「若いのだからなんでも思い切りやりなさい！」が広中先生のご託宣だった！以来、45年間猪突猛進でタックルしてきた集大成が本書である。御笑覧くださいね？

★サイジャーナル復刻版第1巻
[創刊号(1976年1月号)〜第15号(1977年3月号)]販売のお知らせ

価格 1000円(税別)

【購入方法】

購入方法は以下の2つの方法があります。

(1) Amazonで「日本サイ科学会」で検索をかければ、書籍が表示され、注文できます。

(2) 一般書店で購入する方法
書店に左記書籍情報を伝え、注文してください。

※プリント・オン・デマンド出版のため、店頭には並んでいません。
※書店によっては扱えない場合もあります。

【書籍情報】

・ISBN: 978-4-8150-2308-9
・書名: サイジャーナル (PSJ)
復刻版第1巻

・著者名: 日本サイ科学会
・出版社名: デザインエッグ社

★佐々木茂美先生の御著書2冊のご紹介

◎佐々木茂美・苗鉄軍著「心と物質(念写と透視)」

・電子書籍(Kindle版)
価格 1000円(税込)

◎佐々木茂美著「サイ(気)の計測と実用化」

・電子書籍(Kindle版)
価格 250円(税込)

・紙の本(デザインエッグ社発行、Amazon POD版)
価格 1280円(税別)

※いずれの書籍もAmazonで「佐々木茂美」で検索すればヒットし

ます。

関西日本サイ科学会
十一月研究集会のお知らせ

マイナスの『気』エネルギーを
防衛するには

講師 橋本 和哉氏

(医療法人春鳳会はしもと内科外科クリニック理事長、医師、医学博士)

日時 令和3年11月13日(土)

13:30〜17:00(13:00開場)

会場 阿倍野市民学習センター

講堂

交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」

7号出口よりあべのベルタ
地下2階通路を通りエスカ

レーターで3階へ

会費 会員及び同伴の家族二千元

非会員三千元 学生一千元

講師を囲む懇親会

会費3500円 定員15名

※参加のお申込みは、関西日本サイ科学会公式サイト「参加

予約」フォームからお願い致します。

<http://adies.jp/kps/>

普通に生きていたら、知らずとも何らかの「マイナス（有用でない）」「気」エネルギーを誰しもが受けています。自覚症状がほとんど無い人もいますが、倦怠感などを感ずる人は少なくありません。

スピリチュアル相談に応じているとき「マイナスの気エネルギーを受けないようにするにはどうすれば良いでしょうか？」といった質問をよく受けますが、これに答えるときはいつも戸惑います。マイナスの「気」エネルギーを防御する方法は、これさえやればOKというものでないからです。

マイナスの「気」エネルギーは多種類です。例えば特定の電磁波や生霊（いきりょう）の「気」エネルギーも含まれますが、その影響をブロックする方法はそれぞれ異なります。つまり、マイナスの「気」エネルギーは、その種類により防御法も異なるのです。ですから、どの程度防御できているのか？ も大切なポイントとなります。

マイナスの「気」エネルギーについて、防御の知識がある人は、それぞれの防御グッズを手首、指輪、首飾りなど付けておられることが少なくありません。ただ、それほどの程度、防御出来ているのか？ についてはあまり考えたことが無いと思いますが、実際には3割、4割程度の方が多いようです。

「気」エネルギーとは何かを分らずに人から聞いた知識だけで選んだグッズは、まったく効果がない場合もあります。そのグッズがマイナスの「気」を吸い込んでいけば、そのままマイナスの「気」を受け取ることもあるようです。そのグッズが100%の防御力があるか？ はぜひ検討していただきたい大切なポイントです。防御グッズが100%の防御力ある物だと判定されても、大抵は部分的な防御しかできていないことが多く、全身の防御ができていないのです。例えば、上半身だけ、あるいは左側だけとかで全身の防御ができていません。

今回の講座では防御グッズをどのように選べばよいのか？ またどのように使えば全身防御できる

のか？ また、日常よく出くわすマイナスの「気」エネルギーについての考え方、防御グッズの使い方などをお伝えします。また私がいかに使っている防御グッズについても紹介、さらに受講者が持つておられる防御グッズについてもチェックいたします。

防御グッズを既に使っておられる方やこれから防御グッズを求めようと考えておられる方、またクライアント（相談者）からマイナスの「気」エネルギーを受けやすいタイプのセラピストやコンサルタントさんには特に受講をお勧めします。

◎講師のプロフィール

橋本和哉（はしもとかずや）氏

大阪府生れ。大阪大学医学部大学院修了。医学博士。医療法人春鳳会 はしもと内科外科クリニック理事長。内科、神経内科、漢方などを専門とし、臨床に医療ヨガや気功を取り入れ、独自に開発した気当て診断、天賜気功で原因不明の疾患に対処やスピリチュアルな診療もしている。

神経学会専門医、東洋医学会専

門医、内科学会認定医、温泉療法医、NPO癒しと健康ネットワーク理事長、日本サイ科学会理事、関西日本サイ科学会副会長、ホリステイックスピリチュアル医学研究会理事。著書に「医師が語る霊障」（創芸社）ほか、医療ヨガに関する書籍多数。

関西日本サイ科学会 2021年放談会（懇親会）

日時 令和3年12月18日（土）

14:00～17:00

参加費 三五〇〇円（飲食費共）

会場 まつむし音楽堂2F

電話 06・6624・0559

交通 阪堺電車「松虫駅」下車

すぐ、地下鉄「阿倍野駅」から

徒歩10分

定員 15名

サイ現象の体験、研究成果などおきかせください。どなたでも参加できます。

※事前予約が必要です。非会員の方、ご同伴者も歓迎です。

席数に限りがありますので、参加ご希望の方は、関西日本サイ科学会公式サイト「参加予約」フォームからお願い致します。

<http://ladies.jp/kps/>

※十二月の研究集会はお休みです。

関西日本サイ科学会 一月研究集会のお知らせ

「デジタル化で変容する近未来」へ変貌する世の中。備えは万全か！

講師 水口 清一氏
竹田 稔幸氏

日時 令和4年1月15日(土)

13:30～17:00(13:00開場)

会場 阿倍王子神社参集殿(2階)
交通 ・ 阪堺電車上町線「東天下茶屋」駅下車徒歩5分
・ 大阪メトロ御堂筋線「昭和町」駅から徒歩15分

・ まつむし音楽堂から阿倍野筋沿

いに徒歩10分

会費 会員及び同伴の家族二千元
非会員三千円 学生一千元
終了後に講師を囲む懇親会

会費3500円 定員15名

※参加のお申込みは、関西日本サイ科学会公式サイト「参加予約」フォームからお願い致します。

<http://ladies.jp/kps/>

第44回宇宙生命研究分科会

第9回 異能科学会議

テーマ ムーンショット

賛否両論鳴る国家プロジェクト「ムーンショット計画」PSIの視点から眺めてはいかがだろうか？

未来科学、PSENCEからの提言！

日時 令和3年12月26日(日)

午前10時～午後4時30分

会場 北とびあ7階第2研修室
交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

参加費 一般二千元
学生/サイ・サトル会員 一千元
宇宙人 0円(但し受付の要認可)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

(世話役 阿久津 淳)

第6回 占星学と運命創造 の研究分科会

日時 令和4年1月30日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室
交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元(当日入会可)
一般 二千元 学生 一千元

※定員がありますので後述の★欄をご覧ください。ご参加予約願います。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

テーマ

2022年度春分図による未来予測と個人の運勢診断

講師 瀬尾 泰範氏

西洋占星学では、年度にあたる1年間(春分の日から翌年の春分の日まで)のその国の運勢を占うとき、太陽がちょうど春分点(牡羊座0度)にきたときのその国の首都におけるホロスコープチャート(春分図)を描いて診断致します。アストロハーモニックでは、周波数1～9までの「ハーモニック・チャート」も使って、より詳細な診断をしております。

これまでも2020年度の春分図の診断はその年の1月の分科会で解説し、2021年度の春分図の診断は分科会がコロナ禍で延期されたので、アストロハーモニックのメルマガで解説致しました。

2020年度は「アストロハーモニックチャートβ」におけるハーモニック周波数4と周波数8のチャートがパワーがかなり高くなり、土地に拘わらず世界的な問題が起ることが読めました。

また2021年度は、1月12日発行の「新アストロハーモニック通信 Vol.4」で

『以上から、コロナ禍の今後を判断しますと、(ハーモニック・チャートでは)全体的にグランドトラインが多く形成され、周波数3、6のパワーが高いのと、ハー下な方の周波数8で上記の海王星の絡む2つの調和三角形が形成されるので、ワクチンの接種等で、新年度後半までにはかなり収束されると予測されます。』

と配信致しました。
<https://astro.h.com/2021/01/11/2021-venal-equinox-harmonic-chart/>

今回も2022年3月20日0時34分の春分図について、「ホロスコープチャート」と「アストロハーモニックチャートβ」を使って、主に2022年度の日本の診断をご紹介します。

また西洋占星学のハーモニクス理論に基づく当会独自の「アストロハーモニックチャートS」(月運チャート)を使って、参加者の運勢診断を致します。

参加者個人別に今後18ヶ月の月運チャートを配布して見方を説明し、自由に質問を受けながら、個人の運勢診断を分かりやすく解説致します。

さらに水星、金星、火星、木星、土星の2022年1月～2023年6月にかけて、それぞれの星が通過する星座運行による、比較的短周期の環境運の見方と対処法も解説致します。

参加ご希望の方は以下★の2つの場合を見て、お申込み願います。

◎瀬尾泰範氏のプロフィール

静岡県清水市(現静岡市)生まれ。西洋占星学を40年以上研究、かつプロとして診断もし、70年代に英国のJogn M. Adey氏が提唱したハーモニクス理論を發展させて、独自の「アストロハーモニックチャート」を使い、パーソナリティや才能、運勢等の新しい診断法を確立した。

一般人レベルの念動力も測定できる「サイボテンシャルメーター」を開発し、PK・ESP能力の養成も指導している。

「才能開発研究所」、「アストロハーモニック」を主宰、日本サイクソロジー理事。

★既に分科会に参加されて、当会のホロスコープ(出生天宮図)をお持ちの皆様へ

分科会では参加者ご本人(あるいはご子息等)の月運診断チャート18ヶ月分を当日配布し、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和4年1月23日(日)までに「1月30日分科会参加希望」と書いて
 office.21@psj@mail-box.ne.jp宛
 ちにメール送信いただくか、
 FAX 047-330-4091
 にFAX願います。

★初めてご参加の皆様
 参加者ご本人(あるいはご子息等)のホロスコープ(出生図)と月運診断チャート18ヶ月分を当日配布して、診断に利用致します。

配付資料準備のため令和4年1月23日(日)までに「1月30日分科会参加希望」+以下の出生データを書いて
 office.21@psj@mail-box.ne.jp宛
 ちにメール送信いただくか、

FAX 047-330-4091に
 FAX願います。

☆出生データ☆

◎氏名

◎氏名の読み方

◎メールアドレス ◎電話番号

◎西暦での生年月日

◎出生時刻(午前・午後○時○分まで分かれれば、より診断が正確になりますが、分からない場合は不明と記してください)

◎出生地(都道府県・郡市区町村・町名と番地まで分かれればベストです↓こちらで緯度と経度を出します。)

※昨年12月21日に創刊されました占星学のメールマガジン「アストロハーモニック通信」は毎週月曜日に配信しております。

内容は

・ 運命創造学に基づく指針

・ アストロハーモニックチャートによる翌週の社会全体運診断(占星学的六曜)

・ 瀬尾泰範のプロゲ

・ 西洋占星学、ハーモニクス理論の基礎からのレッスン

等です。分科会参加者にはすべて配信しておりますが、今回分科会に参加できない方も配信希望を歓迎致します。

office21@psi.mail-box.ne.jp

宛てに「占星学のメールマガジン希望」と書いて送信願います。

令和3年度通常総会の報告

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

◎令和2年度本部事業報告

1. 会員の現状(令和3年8月末現在)

名誉会員	1名
維持会員	3名
正会員	137名
学生会員	19名
準会員	33名
合計	193名

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「第29回全国大会」を含み、計7回の例会・分科会を開催した。

◎本部例会・大会(敬称略)

令和2年

7月19日(日)「不思議体験談、写真映像発表・討論会」

9月19日(土)山崎正男「多能性幹意識の誘導による超能力の覚醒とシーター波の脳波(iPT意識)」

10月24日(土)第29回全国大会

「シンポジウムテーマ・サイと免疫力」ガン・ウイルスとの闘いも含めて」

◎分科会

☆宇宙生命研究分科会

(世話役 阿久津淳)

令和2年

7月23日(木)第40回「第14回 UFO・オーブシンポジウム」

12月20日(日)第41回「第8回異能科学会議」

令和3年

3月28日(日)第42回「第3回ソクラテスシンポジウム」

☆スピリチュアル研究分科会

(世話役 小林信正)

令和2年

10月31日(土)第11回スピリチュアル研究分科会

☆占星学と運命創造学の研究分科会(世話役 瀬尾泰範)

令和3年

1月17日(日)第6回占星学と運命創造学の研究分科会(緊急事態宣言により延期)

3. 通常総会

令和2年9月19日(土)北とびあ

901会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

令和2年9月19日(土)北とびあ

901会議室で開催

5. 本部理事会(第221回)を

7月に1回開催した。

6. 出版物

「サイ科学」第42巻第1号を発行した。

「サイジャーナル」第451号から第456号までを発行した。

◎令和3年度本部事業計画

・10月23日(土)に創立45周年記念大会(シンポジウムテーマ「サイと瞑想」)開催する。

・本部例会を3回(4、12、2月)開催する。

・宇宙生命研究分科会を3回(7、12、3月)開催する。

・スピリチュアル研究分科会を2回(5、11月)開催する(延期)。

・占星学と運命創造学の研究分科会を1回(1月)開催する。

・本部理事会を4回(4、8、12、2月)開催する。

・全国理事会評議員会、通常総会を1回(9月)開催する。

・サイジャーナルを6回発行する。

・論文集「サイ科学」を発行する。

・公式サイトを運営する。

・「心を科学する博物館 サイ科学遺産」の資料を整備する。

・その他

○活動方針として

・刊行物に種々の分野の解説・応用や新鮮な情報を増やす。

・会の活性化を図るため、例会等でアンケートを実施、活用する。

・謎、不可思議と思えるミステリー写真や映像などを募集し、展示発表する。

・体験型やセミナー(ワークショップ型)の例会を開催する。

・インターネットの公式サイトやメーリングリストを活用する。

・雑誌等の告知欄やメールマガジン

ンに行事の予告を載せていく。
 ・地方日本サイ科学会との連携を深める。
 ・地方からも講師を招く。
 ・理事や若手の幹事(理事候補)、評議員を増やす。
 ・その他

◎地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会

会長 佐佐木 康二

◎2020年度事業報告(敬称略) 2020年

4月11日 第230回研究会総会(磁流研究室)

*2019年度事業報告、2020年度事業計画

*「ヒーリングの原理、ヒーラーがやっていること」佐佐木康二
 6月13日 コロナ禍のため延期(第231回研究会)

8月8日 第231回研究会(日立システムズホール仙台)

*「真の霊能発揮のためのアンチエイジング」新型コロナウィルスの抑制実験をおして」

佐佐木康二

10月10日 第232回研究会(せんだいメディアアテーク)

*「月の魔力」佐佐木康二
 12月12日 第233回研究会(せんだいメディアアテーク)

*「霊能は善から生まれる 真の霊能発揮のための究極の方法」

佐佐木康二
 2021年

2月13日

第234回研究会(仙台市民会館)

*「歴史は神々の競合で動く」

佐佐木康二

◎2021年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及び超能力者の先人たちが出来るだけ深く探求して、誰でも本来的に持っているはずの超能力を万人に成長させて人類の活動能力を本質的に高めること」を今後も目指し、次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成果を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せ

ず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進
 サイ現象の観測量化、気・意識

の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性

の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究、食とサイ能力の関係の研究

4. 講演会等の開催
 「念写実験」等のテーマで8月

に実験会を開催する

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」(福来心理学研究所との共同事業)及びビデオ資料等の閲覧サービス・管理

中部日本サイ科学会
 会長 眞野 博英

◎2020年度事業報告

2回の研究集会はコロナ禍のため、中止となりました。

◎2021年度事業計画

コロナ禍のため、現時点で研究集会は未定です。

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤 禎花

◎令和2年度事業報告(敬称略)

令和2年

6月28日(日)テーマ『マインドフルネス・セルフケア』佐藤禎花

7月26日(日)テーマ『神道の呼吸法と神道の靈魂観 人体の生理作用と心理作用と心霊作用』

佐藤禎花

9月6日(日)テーマ『心の不調、ストレスに負けない精神力は食事から』佐藤禎花

12月13日(日)テーマ『嗅覚とオラオイル(アロマ)』佐藤禎花

令和3年

3月28日(日)テーマ 佐々木茂美 著サイ(氣)の計測と実用化より『氣(サイ)の基礎知識』

佐藤禎花

◎令和3年度事業計画(敬称略)

令和3年

4月25日(日)テーマ『祈りの力 村上和雄先生追悼』佐藤禎花

5月16日(日)

第1部『オキシトシンと皮膚』

第2部『福来友吉「念写」について』佐藤禎花

6月27日(日)テーマ『心の使い方による体の変化』佐藤禎花

※令和3年7月以降は、不定期にて定例会開催予定

関西日本サイ科学会

会長 和田 高幸

◎2020年度事業報告(敬称略) 2020年度

4月〜5月は休会

6月20日 第449回研究集会

(会場:まつむし音楽堂)

「病める地球の処方箋」〜20

20年は大転換期」小澤頼仁

7月19日 第450回研究集会

(会場:まつむし音楽堂)

「死ぬまで元気で生きられる場の医学健康法」生一智之

9月19日 第451回研究集会

(会場:まつむし音楽堂)

「知られざる童謡(わごうた)の世界」

世界 童謡は言葉の結晶」

慈の(よしの) ピアノは津村和泉

10月17日 第452回研究集会

(会場:まつむし音楽堂)

「現役医師が体験した未知のサイ現象について」

UFOの目撃を巡る異常体験と身体的影

響など」高木伴幸

11月21日 第453回研究集会

(会場:大阪市立阿倍野学習センター)講堂)

「人生の質を高める『魂』リーディング」橋本和哉

2021年

1月16日 第454回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「どうなる2021年、そして近未来社会は」

新しい文明の始まりを予感」水口清一

2月20日 第455回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「宇宙の響きで生きる」

「ゼ口磁場発生装置」の神秘」

上森三郎

3月20日 第456回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「出口王仁三郎と霊界物語」

出口孝樹

◎2021年度事業計画(敬称略) 2021年

4月17日 第457回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「地球外生命体が人類の祖先だった!?」

上部一馬

(5月は休会)

7月17日 第458回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「政木」磁気治療器」の現在(いま)〜

政木和三(まさき・かずみ)先生(元阪大工学部工作センター)長)と

のご縁に始まった私の現在」

北野幸治

8月14日 関西日本サイ科学会 夏季放談会(会場:まつむし音楽堂)

9月18日 第459回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「コロナ禍の深層」井上正康

10月16日 第460回研究集会

(会場:阿倍王子神社参集殿)

「数字で読み解くヒトとセカイ、ミライ」

難波双六

※研究集会 11月以降は未定

九州日本サイ科学会

会長 伽羅

◎令和2年度事業報告

コロナ禍のため、研究集会は未開催です。

◎令和3年度事業計画(敬称略)

令和3年

11月9日(日)九州日本サイ科学会新会長あいさつ

テーマ「近年の霊界の事情」

まだ本には載っていない最近の話し」

を皆で楽しく意見交換し合いましょう」

会場 博多駅前貸会議室(八百治ビル)

エイムアテイン貸会議室5・I(アイ)

ファシリテータ 森安前九州日本サイ科学会会長

および 伽羅

※以後の活動は九州日本サイ科学会の皆様

の意見を伺いながら進めて参りたいと存じます。

「令和2年度決算報告」

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	1,600,000	会費(正)	1,256,000
例会	400,000	会費(学生)	120,000
寄付	400,000	会費(準)	145,000
本・他	100,000	会費(維持)	40,000
繰越金	1,377,527	会費(賛助)	0
合計	3,877,527	入会費	6,000
		例会収入	226,000
		本会寄付	702,000
		本・他	34,440
		広告料	0
		前年度繰越金	1,377,527
		合計	3,906,967

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	1,500,000	ジャーナル発行	500,000
例会	300,000	会誌発行	250,000
寄付	400,000	人件費	1,000,000
本・他	50,000	例会会場費	150,000
繰越金	1,384,723	講師謝礼	120,000
合計	3,634,723	事務用品	120,000
		郵送・配送料	50,000
		通信費	40,000
		会議・打合せ	60,000
		交通費	10,000
		事務所維持費	150,000
		郵便・銀行振込料	7,000
		予備	100,000
		来期繰越金	1,077,723
		合計	3,634,723

〔令和3年度予算〕

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	600,000	562,100
会誌発行	300,000	264,000
人件費	920,000	1,065,000
例会会場費	150,000	77,995
講師謝礼	120,000	32,000
事務用品	120,000	151,626
郵送・配送料	50,000	41,811
通信費	40,000	46,292
会議・打合せ	60,000	25,998
交通費	10,000	0
事務所維持費	150,000	144,152
郵便・銀行振込料	2,000	6,820
予備(予稿集印刷代)	100,000	104,450
来期繰越金	1,255,527	1,384,723
合計	3,877,527	3,906,967

令和3年度日本サイ科学会役員
構成（*印は新任または改選）

名誉会員 品川 次郎
特別会員 トレイシー・アッシュ
(Tracey Ash)

名誉会長 佐々木茂美
会長 浪平 博人
理事長 久保田 昌治
副理事長 小林 信正
顧問 品川 次郎

地方会長兼理事

関西日本サイ科学会名誉会長

河野 明夫

東北日本サイ科学会会長

佐佐木 康二

中部日本サイ科学会会長

眞野 博英

北陸日本サイ科学会会長

佐藤 禎花

関西日本サイ科学会会長

和田 高幸

九州日本サイ科学会会長

伽羅*

理事(常任理事を含む)

阿久津 淳、石川 允朗、

大木 高伸、小林 泰樹*、

小牧 昭一郎、志賀 一雅*、
徳永 康夫*、中島 敏樹*、
鯨江 勇*、橋本 和哉、
苗 鉄軍*、渡辺 宙明*

幹事 小澤 佳彦

評議員

占部 浩一、瓜生 昌代司*、
鴨川 裕司*、川村 隆夫*、
小林 隆文*、佐藤 ひろ子*、
谷口 五月*、飛田 洋子、
三浦 良江*、

監事 未定

◎基幹論文賞表彰

基幹論文賞

東京都 久保田 昌治 殿

本会は定款細則第十八条により総
会の議を経て 貴下の研究活動に
対し基幹論文賞を贈り 感謝の意
を表します

令和3年10月23日

日本サイ科学会会長 浪平 博人

題目「強電解水の活性化メカニズ

ムの解明」

水を強電解すると水の電気分解が
起こると同時に電離反応が進み
電気伝導度の向上や構造変化が起
こり活性水の機能に大きく寄与する

※今年度の表彰式は10月23日(土)
創立45周年記念大会で行われます。

令和2年2月本部例会報告I

「カタカムナ潜象物理」を基
にした生命創造の基礎構造
(仮説)による意識体ゼロ化
を可能にするヒーリングメ
ソッド

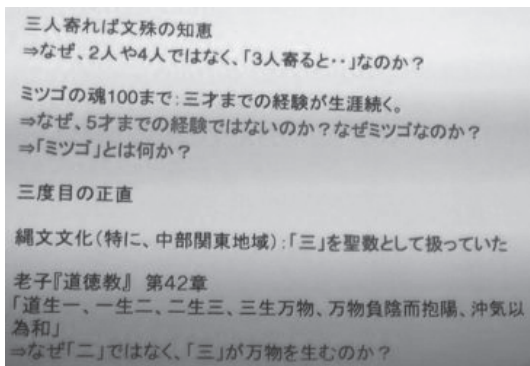
講師 アマナ(呉清恵)氏

今日は、無から有、0(ゼロ)か
ら現象界に形や生命が生まれる基
本原理について、私自身カタカム
ナの理解に基づく仮説についてお
話したいと思います。「カタカ
ムナ潜象物理」は膨大なのですが、
今日はその内のほんの基礎につい
て、お話をさせていただきます。

その応用に関しましては、量子世界には二つの特徴があると言われています。一つは「非局所性」、もう一つは「観測者効果」です。それでは「見る」という事がどういうことなのか、についても今日のカタカムナ潜在物理の基礎講話のお話を通して、理解を深めることができるかなと思います。「見る」という事を通して、ヒーリングにも活用できるわけです。

本当の結論の結論は、生命創造の基礎構造というのは、抽象的なレベルで申し上げますと、正三角形四つでできる正四面体です。私はこちらを3+1の構造と言っておりますが、それが生命創造のプロセスの中の最小単位なんですね。これを仮説として提示しております。これはカタカムナ潜在物理だけではなくて、縄文土器の模様の解釈との比較を通して出てきた考えなんです。

この3の構造は、日本では「3人寄れば文殊の知恵」とか「ミツゴの魂100まで」という諺があります。では2人あるいは4人ではなくて、何故3人なのか？何故5歳までの経験ではなくて、3



歳までの経験なのか？「ミツゴ」とはいつたい何なのか？

私たちはあまり考えないで、「三度目の正直」といったり、「三々五々」とか、3という数字を結構使っております。でもその本当の意味は理解していないと思います。縄文文化では、特に中部・関東地域では3を「聖数」として扱っています。その流れが文化の基底となつて、「ミツゴの魂100まで」というような諺の中で、英智となつて、引き継がれてきているのだろうと思われれます。老子の「道徳教」第42章の「タオ

が一を生み、一が二を生み、二が三を生み、三が万物を生む」というふうに書かれているのですが、何故「二」ではなくて、「三」が万物を生むのか？それについては老子の研究者も「ノーコメント」なんです。そういうことから「三」というのは、深い意味があるな、と思います。それについての理解を今日は一つの仮説として提供したいなと思います。

自己紹介を致しますと、私は現在大阪経済法科大学アジア研究所客員研究員として所属しております。日々主として時間を費やしているのは、「ルミナクリエイション」の個人事業主として、ヒーリングを行ったり、それを教えたりもしております。アカデミックな背景としましては、大阪市立大学の経済学部大学院修士課程と博士課程（国際労働市場論）を満期終了しております。その後、カリフォルニアには家族で移つて、カリフォルニア統合学研究所で統合学（文化人類学）博士として研究しております。英語の著書を基にして、昨年日本語の「潜在のサイエンスで解く 縄文・カタカム

ナ・レイキ」という一般向けの本も出版しました。今日のお話はその内容とほぼかぶるのですが、プラスαとしまして、実践的な面でお話ししたいと思っております。

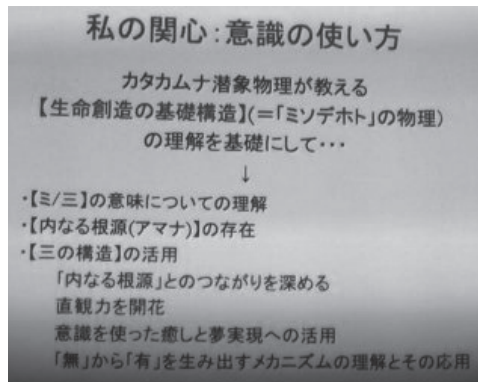
私は昔社会運動をしておりましたが、子供を産んだ後、チエルノブイリの事故が起りまして、そのとき本当にショックを受け、「未来の子供達に自分はいったい何を遺せるんだろうか」と非常に悩み出しました。社会を変革するときのアプローチとして、ただ批判してというやり方ではなくて、違うやり方はないかと探し始めました。そしてカタカムナ文獻に出会いました。このカタカムナ文獻は自分にとって驚きであつて、結局大卒での研究や社会運動も全部やめてインドに行きました。そこでもらった名前が「アマナ」というもので、たまたまこの「アマナ」というのがカタカムナのキーワードになるような言葉なのです。それ以来この名前を使わせていただいております。

その後、カリフォルニアのバークレーに家族と共に移り住んで、約15年くらい「ライトボディの活

「性化」を基礎にしたライトワークを学び実践し、レズリーグレイとのシャーマニックワークも実践しました。博士課程の研究の傍ら、個人やグループに冥想やヒーリングセッションを提供してきました。

私が何のためにこういうことをしているのかと申しますと、私たち人間が忘れてしまったことがあるのではないかと。それが社会運動をしていって途中でオールタナティブ（主流の方法に変わる新しいもの）を求めたときの一つの解答だったんですけれど、自分の中の「内なる根源（アマナ）の存在」を思い出して、それとのつながりを回復し、そこから人と人がつながり合う多様性を尊重する社会を創りたいということです。

カタカムナを学んでいる先生方は最近沢山いらっしゃいます。私の関心は意識の使い方です。特に今日お話しするような3+1の構造とか、人間の中に「内なる根源（アマナ）」があつて、そこに意識を向けて実践的にやっていくことが重要だと伝えたい。



3+1の構造の活用は、自分の内なる神、根源の部分とつながりを深める上で、本当に方法を示唆しているわけです。直感力が開花したり、意識を使った癒しとか夢実現に活用できます。これをもっと突き詰めて行くと、無から有を生み出すメカニズムを理解でき、それを応用することができます。

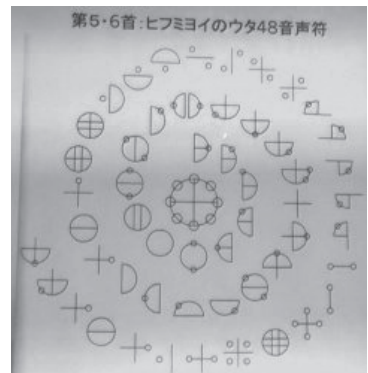
「カタカムナ潜象物理」とは？
その基礎的世界観

「カタカムナ文献」とは榎崎臯月氏（1899—1974）が平十字という人から見せられた巻物に書かれた抽象図形からなる80個の渦巻き図象のことです。

榎崎臯月氏はそれを20日かけて手書きで書き写し、以後5年かかってそれを解読し、後継者の宇野多美恵氏（1917—2006）と共に、カタカムナ文献の解読の成果を『相似象』に発表していきました。榎崎氏お逝去後も、宇野氏は解読を継続し、全部で27冊が刊行されました。

各渦巻きは分かりやすい語調で宇宙やイノチのサトリを説明したウタになっていきます。榎崎氏は「科学が追いつくには、1000年はかかるかもしれない」と言っており、80首の内、72首までの解読が出版されています（第16号2004年）。

榎崎臯月氏によると、「カタカムナ潜象物理」というのは、上古代（一万年以上前）のアジアに存在したと考えられる人々が、その非常に高度な直観によって、宇宙が発しているヒビキ（波動）を48の音として観じ分け、それぞれのヒビキの意味を48の抽象的な音声府で表現したものです。それがこの図でして、真ん中の十字円の上の半円図から右回転で



5首
ヒフミヨイ
マワリテメクル
ムナヤコト
アウノスヘシレ
カタチサキ
6首
ソラニモロケセ
ユエヌオヲ
ハエツキネホン
カタカムナ
7首
マカタマノ
アマノミナカヌシ
タカミムスビ
カムミムスビ
ミスマルノタマ
というように読みます。

彼らは、生命の発生、宇宙の遷移についてのサトリを子孫に伝えるため、それらの音声府や図象文字を使って、イノチや宇宙の物理についてのサトリを80の渦巻きで表しました。

相似象とは「構造」の相似性

・カタカムナのサトリは、イノチの働き、自然の働きの「構造」について、相似性を観察することに基づいている。

・「相似象」とは、要素と要素の結びつき方、組み合わせの在り方、つまり「構造」が相似しているということ。

・相似の「構造」で示されるもの＝同じような力の働き、観念、思念、深い意味、象徴的意味

・ミクロからマクロの全てのレベルで、同じ構造が見いだされる時、同じチカラの働きがある

「カタカムナ」という言葉

現象の背後には潜在が内在し、万物万象はカムから発生する。

つまり、生命の根源は「カム」であることを示す言葉。

・現象の背後には、「カム」が遍

満している。万物万象は潜在のカムから発生し、カムが刻々とイノチを供給し維持してくれている。

・「カ」とは、カムの微分量、量子よりもはるかに細かいナノレベル以下の不可視の粒子。

・「カタ」とは、「カ」（潜在）から現象宇宙に分離独立（タ）したもの、すなわち「片」であり、「形」をもつものであるということ。

・「カムナ」はカムから何回も何万回も（ナ）出たモノ。

「アマタマ」（真ん中の十字円）は、宇宙を表し、周囲の小円はそこからカムの粒子が浮上してくるものです。「アマタマ」は収縮と膨張を繰り返しているのですが、収縮したときに、小円がポンと出てくるわけですね。小円の位置は十字横線の右側にある小円から左回りに「ヒフミヨイムナヤ」となっており、イノチの発生のプロセスの意味を小円の位置が表しておりま

す。横線は生命系、モノとか物質を表しており、縦線はカムの力によってイノチを供給されること、目に見えない潜在からの粒子がポ

ンと飛び出してイノチの力を付与していることを表します。

「カタカムナ潜在物理」が説く

宇宙の万物万象の最も基本的な性質

(1) 「正対称性」

「波動性」(微分性)「イザナミ」と、「粒子性」(結球形)「イザナギ」という正反する性質が、一つのものに同時に伴う、ということ。

(2) 「正反の互換重合性」:「ト」

「フト」

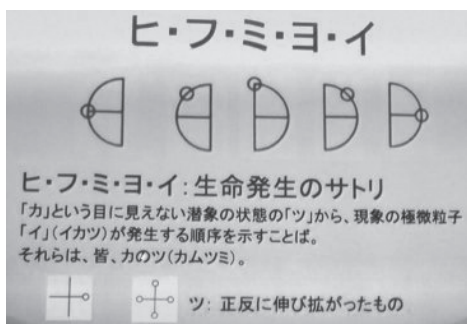
重合とは、「状態(目に見える現実の状態に、潜在(目に見えない潜在のありさま)が重なり合っていること」

「ト」:統合、重合:十の横線↓
生命や物質系を表し、イノチの養い(アマウツシ)を表す。縦線は、それに刻々関わって、生存を持続させているカムのチカラの関わり(カムウツシ)。

カムウツシ、アマウツシによって、あらゆる生命が発生し、持続し、還元されるといふ、カタカムナの根本思想を示す音声府。

「フト」:「正」(サヌキ:右廻りの回転)と「反」(アワ:左廻りの

回転)の二つのチカラが出合い、対向の場ができて、重合(ト)すること。



ヒ・フ・ミ・ヨ・イ:生命発生のサトリ

右図の半円図の右側から「ヒ・フ・ミ・ヨ・イ」となり、それぞれ半円の横線は粒子を表します。右側3つの右半円が潜在系で、「ヒ・フ・ミ」が10のマイナス33乗センチメートル以下のレベルというふうイメージできるとおもいます。

(続く)

第四六〇回関西日本サイ 科学会研究集会報告

コロナ禍の深層

講師 井上 いのうえ 正康 まさやま M.D.
(大阪市立大学医学部名誉教授)

日時 令和3年9月18日(土)

会場 阿倍王子神社参集殿

講演内容

医学者として数多くの実績をもつ井上正康氏(医学博士)は、「コロナ禍」に彩られる現代の世相に向けて率直な発言をしておられます。国内外に多大な影響力をもつこの感染症(COVID-19)に、わたしたちは今後どのように対処すればよいのでしょうか。

マスク、ワクチン、PCR検査・・共有された情報の影響力は大きいですが、事実から目をそらすことなく判断することが求められます。詳しくは新著「本当はこわくない新型コロナウィルス」をごらんください。

井上正康氏プロフィール

大阪市立大学名誉教授、医学博士。

大阪市立大学健康科学研究所所長

(産業医学)・現代適塾塾長。

1945年広島県に生まれる。岡山

山大学医学部卒業。インドペルシ

ヤ湾航路船医をへて同大学院修了

(病理学、医博)。

1980年 Albert Einstein 医科大

学内科学准教授。

1982年 JES 大学医学部教授

(分子生物学)および熊本大学医学

部教授(生化学)。

1992年大阪市立大学医学部教

授(分子病態学)。

2011年同大学特任教授(脳科

学)、宮城大学理事・副学長。

2013年より健康科学研究所所

長(産業医学)および大人の学校

『現代適塾』塾長。

著書に「ほんとうはこわくない新

型コロナウィルス」(方丈社)ほか。

第四六一回関西日本サイ 科学会研究集会報告

数字で読み解くヒトとセカイ、
ミライ ～開運の方法と終
末期を予測するNP波動～

講師 難波 なんば 双六氏 すせろく

日時 令和3年10月16日(土)

会場 阿倍王子神社参集殿

難波双六氏のプロフィール

言霊(ことだま)予知術宗家。

日本ニュートラルポイント研究所

代表。

1988年マレーシアを旅行

中、インド人の経営する本屋で西

洋「ニューメロロジー」のルーツが日

本の天文学(九星術)であること

を知りコンピュータソフト「ナン

バースコープ」を開発した。実査

(占い)により数千件のデータを集

積して1992年「言霊予知術」

(ニュートラルポイント刊)を上

梓した。以後版を重ねていわゆる

「占いの種本」ともなっている。

「ダウジング」の分野では、在

米のトップダウザー、故ビル・コ

ックス氏と協同で日本初となる処

女水の深井戸掘削(1995年洲

本市、1997年福知山市六十

部)を成功させた。

著書に「ニュートラルポイント

の秘密」(アニマ2001)、「未

知の彼方へ」神祕のUFO写真

集」(浪速社)、「直観と環境テク

ノロジー」(ビル・コックス他と

共著、同)、「定本・言霊予知術」

(同)ほか。※著者名は和田高幸

も有り

論文に「言霊の解明とセラピー

への応用」、翻訳に「構造(テクト

ニクス)地震の性質について」(ス

コペリン・クラシノヤノスク地質

学研究所)など。

関西日本サイ科学会会長和田高幸

講演内容

10月10日は「デジタルの日」

ということだが、「二進法による

「0」と「1」の組み合わせである

う。コミュニケーションに欠かせ

ない数字や文字は、本源となる

「音」や「象(かたち)」を単純化し

たものである。

文字は「読む」ことで「音(声)」

に還元され、脳(とくに左脳)に

よって解釈される。「音」はやが

て「言霊」となって、ユングの言

う「シンクロニシティ」(意味のある

偶然の一致)を仲介することに

なるのだが、数字(文字)はもともと現象の相(すがた)や象(かたち)をイメージ化したものと考えられる。つまり現象とイメージが「一致」するのが数字である。

「数字」と「イメージ」が一致すれば人の性格だけでなく、その未来を予測することも難しくない。そこで数字占い「ニューメロロジ」が誕生したと推察できるのだ。数字は「0」を除けば9種類。「1」で始まり「9」で終わる。毎年末の締めくくりとなるのがペートーヴェンの「第九」(合唱付)だが、これにも「9」の数意が隠されている。

9種類の数字がもつそれぞれのイメージを当てはめて占うのが西洋ニューメロロジであるが、対象となる数字は一桁(根数)でなければならぬ。また「音」を重視するので名前の「読み」(呼び方)はアルファベット(ローマ字)で表記するのが基本だ。

アルファベット26文字にはAから順番に1から9までの数値が与えられており、それらを合計して一桁の数字にするのが基本だ。や

り方はかんたんだが、占う場合は1から9、それぞれの数字の用法やイメージに精通しておく必要がある。ことしは2021年で、 $2+2+1\downarrow$ 「5」となるが、昨年(2020)の米大統領選では Biden氏が勝利した。2020年代には「2」の影響がよくなるが、「5」には「2」が絡んでいくことにはお気づきだろう。

名前や生年月日を数字におきかえるテクニクはともかく、来年、2022年を単数化すれば、 $2+2+2\downarrow$ 「6」となる。

「6」の年には地震や大災害が発生することが多い。たとえば関東大震災(1923)や阪神淡路大地震(1995)も「6」の年に発生している。

太平洋戦争への発端ともなった「シナ事変」(1932)も同様だが、中国の動きには注意する必要があるだろう。

世界史の動向だが、見逃せないのは「国名」と「数字」の関係である。「言霊予知術」では、英語のアルファベットで表記する国名を数値化して判断するのだが、欧米

など概してキリスト教圏の数字は「1」、中東などイスラム圏の数字は「9」となる。

「9・11」の航空機テロ事件で明らかだが、両者は衝突する運命にあったのだ。この事件の首謀者ラディンの潜伏先、アフガニスタン(1)はいったん米国支配となったが、現在は「イスラム圏」のタリバンが主導権を握っている。

「1」の背後には「9」が隠れている可能性もあるが、「2」(1+1)の影響が推測される。独立と従属を繰り返す「11」にはユダヤ人(EM=11)の存在が見え隠れするが、いっぽうロシア連邦(CIS)の動きにも注意が必要だ。

「未来」は永遠のフロンティアだが、来年1400年忌を迎える聖徳太子が書いた「未来記」が四天王寺(大阪市)に現存するという噂がある。

ところで、「音」を「観」る「観音」こそ、「文字」そのもの、たとえば「五十音図」を示しているのではないかと思われるのは、日本語が「音」を重視して文字を創作した形跡があるからだ。法隆寺、「玉虫の厨子」に保管された最高

經典が「いろは歌」であったという話も伝わっているが、各地にある聖徳太子ゆかりの「十一面観音像」はいったい何を語るのか。

聖徳太子の誕生日は1月1日、命日は2月22日である。古代ギリシャ、ピタゴラス教団を源とする「薔薇十字会」や「フリーメイソン」などいわゆる古来の「秘教集団」のテキストであった「カバラ」や「ゲマトリア」などの文献では、「11」が特別な数字とされている。

最後に、昨今の「終活ブーム」を背景として、終末期を予測する「NP波動」について、作曲家バツハの事例をもとに解説したい。生後、左右の脳が最大限に解放された状態(NP)における満年齢の数値を1周期とする「運命波動」を描けば、「終末期」はある程度予測可能なことがわかった。「言霊」(数霊)の語る未来は、奥深い。



本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。
価格 1件につき 二五〇〇円 (送料含む)

※御注文はメールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2020※年月〇月〇〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

office21@psij.mail-box.ne.jp
FAX 047-330-4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。

以下のビデオ映像から、御注文願います。

◎2017年2月本部例会

講師 秋山佳胤氏

「私たちの存在の本質について、波動的、物質的視点から考える」

◎2017年4月本部例会

講師 池川明氏

「子供達の出産前の記憶が教えてくれること」

「子供サミット」

生れる前の記憶を持っている子供たちと、たいわ士の南山みどりさんの『たいけんトーク会』

◎2017年6月本部例会

講師 大高ゆうこ氏

「自分も知らない自分と出会う」

「夢のチカラ」

講師 小林敦氏

「人類の存亡を分けるもの」

◎2017年9月本部例会

講師 石川允朗氏

「健康で長生きすることを科学的と心霊的、そしてSWIIについての実演」

◎2017年10月第26回全国大会

シンポジウムテーマ「AIを乗り越えるのは? AI「人工知能」vs PSI「サイ能力」」

◎2018年2月本部例会

講師 篠浦伸禎氏

「覚醒下手術から始まる統合医療」

◎2018年4月本部例会

講師 七沢智樹氏、杉山彰氏

「ログストロンシステムが拓く未来」

◎2018年6月本部例会

講師 由井寅子氏

「体・心・魂を三位一体で治療に導く未来の医学『ZENホメオパシー』」

◎2018年7月本部例会

講師 清水浦安氏

愛宕なみ氏

「天界に帰還した中村天風先生が今の日本人に伝えたいこと」

◎2018年9月本部例会

講師 秋山真人氏

「40年余の宇宙文明コンタクトから判ってきたこと、異星人と意識」

◎2018年10月第27回全国大会

シンポジウムテーマ「水と健康」

◎2019年2月本部例会

講師 東中川徹氏

「エビジェネティクスとは何か?」

◎2019年4月本部例会

講師 佐々木茂美氏

佐藤 禎花氏 苗 鉄軍氏

「オーブ研究の最近について」

◎2019年6月本部例会

講師 小久保 秀之氏

「マイクログルック現象の発生メカニ

ズムについて」

◎2019年9月本部例会

講師 志賀一雅氏

「脳波とパンアレン帯との共鳴について」

◎2019年10月第28回全国大会

シンポジウムテーマ

「スピリチュアル・ヒーリング」

◎2020年2月本部例会

講師 アマナ(呉清恵)氏

「『カタカムナ潜在物理』を基にした生命創造の基礎構造(仮説)による意識体ゼロ化を可能にするヒーリングメソッド」

◎2020年9月本部例会

講師 山崎 正男氏

「多能性幹意識の誘導による超能力の覚醒とシーター波の脳波(PR意識)」

◎2020年10月第29回全国大会

シンポジウムテーマ「サイと免疫力」ガン・ウイルスとの闘いも含めて」

◎2021年10月創立45周年記念大会

シンポジウムテーマ「サイと瞑想」

◆ ◆

する。無理は禁物である。気長に――長い時間をかけて、徐々にすすめる。

具体的には、腕時計を外し、バンドを緩め、椅子に腰かけ、背もたれから背中はなす。

静かな、ゆったりした落ち着いた雰囲気の中で、腕が重い、腕が重い、――とし、次に、足が重い、足が重い、――、腕が温かい、腕が温かい、――とし、次に、足が温かい、足が温かい、――と、続ける。初心者は、パソコンの、net (動画) を利用するとよい。

最後に「終了動作」をする。意識はボーとしてボケ老人の状態であるが、両手を強く、グー、パーをする。強く背伸びをする、等。――催眠から覚める事。

この時の、願い事は、――目隠しをして、非肉眼で、物が見える様に――これは、非常に難しい。

(2) 脳の機能には、コンとハクがある。

昔から言われているが、コンは移動型、ハクは固定型である。さらに、脳は、意識、変性意識状態 (ASC)、無意識 (フロイド)、統合的無意識 (ユング)、に分けられている。意識は、昼間の働いている時。無意識は夜の眠っている時である。

(3) 変性意識状態 (ASC) は、別にトランスとも言われており、この脳波になった時に、非肉眼でも、外界の物が見えることになる。

6) 意識体の形成要素

(1) 意識体は、実験者の先祖に関係したオーブ (陰陽サイ spin 対) を出現させる方が良い。

(2) 守護霊 (ガイド) 形成にも、実験者の先祖に関係した陰陽サイ spin 対を使う方が、より容易である。つまり、身内に関係した「サイ (気) の spin 対」を集める事が、ガイド (守護霊) をつくる場合に、より容易である。したがって、初心者は (3) 先祖に関係した意識体をガイドにする事が望まれる。

7) 体外にある意識体

(1) 「サイ (気)」は、変性意識状態 (ASC) 時に、意念の指示に従って体外に放出されている。そして、体外に有る真オーブに付着して、意識体を形成し、視覚をもつ事に成る。この

実証を述べる。

(2) 透視時の光は、電磁波類似で、向こう側から照射してくる (山下裕人テスト)。そして、

(3) 複雑な物質を見る場合には、向こう側からみている。――つまり「鏡面像」に見ている、―― (理由として) 上下は正像であるが、左右は逆になる (念写と透視時の福来友吉実験、佐々木茂美実験、において)。

(4) ミクロ念写「(念球) 時には、光は、向こう側からやってきて、向こう側に帰っていく (清田益章テスト)。

(5) 念写のごく初期の芽状の点念写像は、向こう側からやってくる。または上から下にやってくる【川崎利夫、佐藤禎花、佐々木茂美のテスト時】。

(6) 本稿では、主として、体外の宇宙空間に「意識」が、充満して存在している事の実証について述べた。

【注釈】

(1) 福来友吉先生は (1910) 年に「念写と透視」を発見した。そして、|念| は願いをもったエネルギーであり、時間や空間を超えて、宇宙全体に広く拡散している。と主張した

(2) 量子脳理論で有名な英国、ロジャー・ペンローズ (1931-現在) は 2020 年のノーベル物理学賞を受賞した。ニューロンを通る電子信号が量子ゆらぎを発生させ、ニューロンからは、波動となって溢れ出て、その総体が意識であるとした。また空間自体には量子的な性質があり、人間の意識は重力から生まれるとした。さらに、量子化した意識は、死後には生体を離れて宇宙に拡散してゆくと主張している。

本研究に先行して宮内力、福田豊、両先生の実験がある。ご指導戴いた品川次郎先生にお礼申し上げます。

数は下がり、8～6Hz近くの変性意識状態(ASC)になる。同時に、目隠しをして、非肉眼で、物を見る訓練をする。-----すると、無意識層からサイ(気)が体外に放出される。このサイ(気)は近赤外線領域に存在している(1.38eV)、そこで、近赤外線ランプを点灯させて撮影する。すると、真オーブは、撮影されてこない、フラッシュを焚いて撮影した時のみ撮影できる。つまり、この時には、零場が形成されて、サイ現象が生起してくる。

3) 体外に形成される意識体

はじめに、真オーブの形成を述べる。体外の空間にあるオーブにサイ(気)を加算させて意識体を造る。実験の要点は現象の再現性を得る事にある。夜になり、ベランダに出て、キリフキでキリを空中に散布させて、これをデジカメでフラッシュ撮影する(例えば、連続して30回以上)。これを、毎晩、毎晩、実施する。これを20日以上も続ける。すると雨粒(円形、表情は無い、偽オーブ)が写った後に、円形の真オーブが写るようになる。真オーブは円内に模様(ほぼ規則的な曼荼羅状、非対称干渉縞状等の表情)がある。オーブの出現率は、通常は1/150程度であるが、この方法を用いれば、約1/3程度にまで、上昇する。つまり再現性がでてくる。なお、このテストは割合に容易であり、誰にでもできる。この真オーブにサイ(気)を加算させたのを、意識体またはガイド(意識体、守護霊)と呼ぶ。

4) サイ(気)を体外に放出する

円形状のオーブ(気)の円内模様を苗鉄軍博士がカオス解析したところ、低次元決定論的カオス性のあること、並びに、カオスの駆動因子は $D=1.9\sim 2.3$ であることが判明した。この事から、皮膚の約2個所(チャクラ)がカオス・アトラクターの駆動因子となっている事がわかった。他方、東洋の伝統医学によれば、体内には気血の循環と云われるように、陰と陽のサイ(気)が循環しており、約2個所のチャクラ(皮膚)から「サイ(気)」が放

出されている事を意味している。体内により良い、より多くのサイ(気)が存在している事が、より良い意識体並びにサイ現象を得るために必要であろう。

5) スカラー波の発生

透視ということで、両眼に目隠しをして、非肉眼で、外部を見る。これは、体外に、視覚をもった意識体を形成させることを意味している。経験によると、これは、極めて難しい。これが出来る様になると、念写等は容易に可能となる。他方、マクロPK(念力)時には、意識と無意識とは拮抗対峙しており、その先端に相殺零ができ、これが超常現象の発生点になる。相殺零の発生を繰り返して行くと、スカラー波(縦波)の発生になる。目隠しをして外界の物を見る時(透視時)、意念(強く願う)に従って、ついに拮抗対峙の均衡が破れて(意識と無意識の間の壁が壊れて)、体外に、(無意識層から)サイ(気)が放出される。この時、サイ(気)は、意識の指示に従って、スカラー波を搬送波として、念力の対象物に伝送されることになる。

透視の実施であるが、いつも、いつも、毎日、毎日、続ける。例えば、脳波を下げて、変性意識体(ASC)付近になり、深い呼吸をして、吐く息に願い(非肉眼で外部を見る)を込めて、練習する。一回に5～10分位程度でもよい。何回も、何回も、毎日、毎日、毎日、練習する。すると、体外にサイ(気)が放出されて、意識体に視覚が生じるようになる。ただし、あまり無理をしない様に。頑張りすぎると、良くない。たとえば1年程度の練習の後に、見える様になればよい。

【注釈】

(1) シュルツの自律訓練法の併用(応用)を試みる。これは「マインド・コントロール」または「自己催眠法」と言われているものと同一である。最近になると、日本の厚生労働省の広報(net)でも、リラックス法として、紹介されている。

具体的には、「ユツタリ」した、遅い、深い呼吸をする。吐く息に願いを込めて、呼吸

とほとんど変わらない状態でやれるようにならないと駄目ではないかと考える。こうせざるを得なかったのはまだ科学の進歩が不十分だと言わざるを得ないのである。それと新型コロナウイルスもウイルスである以上初期のダイヤモンド・プリンセス号での感染者の増加傾向から考えても空気感染が主流と考えるのが常識ではないかと考える。

ところが現在の消毒剤の主流はアルコールと次亜塩素酸ナトリウムである。共にうがいをすることも空中噴霧することも出来ない。そんなことから今主流の消毒剤では空気感染と言っても適した消毒剤がないためにあえて飛沫感染を強調したのではないかと疑わざるを得ないのである。これに対しうがいや空中噴霧が可能なオゾンやオゾン水、特に強電解高純度次亜塩素酸水(SO水)のような消毒剤に対し否定的な情報が大大的に流されたりした。最終的には可成り修正はされたが・・・特にSO水については2003年にSARSコロナ

ウイルスが流行した時に北京の中日友好病院で2病棟で噴霧実験し共に感染者が出なかった実績があるものである。これらが市場に広く出回っていたら空気感染防止対策になり、また院内感染などは可成り防止できたはずである。大変残念な出来事であった。

いずれにせよどんなに良いワクチンが発明されようが、またどんなに優れた治療薬が開発されようがウイルスも我々と同様に生き続けたいのである。そのためにこれからも新種のウイルスが先に発生し続ける以上我々は自らの免疫力を高めることが最も重要なことであることを忘れてはならない。このことは如何に医科学が進歩しても少しも変わらないのである。

最後に新型コロナウイルスに感染され闘病されている人々に心からお見舞い申し上げますとともに不幸にしてお亡くなりになられた方々に対し心からご冥福をお祈り致します。

サイ(気)は、念力(PK)時に体外に放出されて意識体を作る

栗田 慶祐

1) はしがき

精神としての「意識」と「物質」としての「物」は異質であって交わる事はない。これは、知性・理性としては正しいと言える。しかし眠りにつき始めると、脳波の周波数は下がって変性意識状態(ASC)付近(8~6Hz)になる。この時、意念(強く、願う)すると、意識が物質に影響を与える様になってくる。超心理学やサイ科学等では、ASC時に、各種の異常現象(例えば、念力・PK)が生起すると考えてきた。しかし、マクロPK現象はまれにしか起きないので、実験的な検討はあまり無かった様に思う。筆者らは、体外の空間にオーブを形成させ、これを意念によって

変形して三日月型の月の念写像を創る実験に成功している(2018)。そして、これの画像解析の結果として、念写の原因として、陰陽サイpin対【光子群】[略称：サイ(気)]が発見された。本稿は、体内からサイ(気)が放出されて、意識体を形成する事実について検討を加えるものである。

2) 透視の実験

透視とは、肉眼を用いなくて物を見る事を云う。自律訓練法の実験と同時に、透視の実験を行なう。ゆっくりした遅い(時間のかかる)呼吸をして、吐く息に願いを込めて(物が見える)呼吸をする。すると、脳波の周波

るといい「超常現象」とはオーソドックスの科学では調査または説明が出来ない、あるいは調査・説明をしようとしなない現象と定義している。そして超常現象は人間の思惑には関係なくとにかく起こるといふ。しかし筆者は実際には意識がからんだ超常現象は有り得ると考える。ところが今のオーソドックスの科学では客観性や再現性を最重要視する関係上、意識エネルギーの存在を認めない、または無視している面がある。したがって編者が言うオカルトの中には超常現象の範疇に入るものがあるのではないかと思われる。ただし本著では超常現象が中心にまとめられている。

全体で8部構成になっており 第1部 信ずることの力、第2部 心の秘奥。第3部 霊能の人々、第4部 予測不能の世界、第5部 UFOの謎、第6部 霊能力の世界、第7部 科学の最前線、第8部 死後の世界である。

本書は刊行されてすでに30年経過している。この30年間に超常現象がどの程度研究・解明され進歩・発展したかに関心があり興味があるのである。

例えば第3部の霊能の人々ではユリ・ゲラーやサイ・ババなど18人が取り上げられている。各人の誕生から実技、業績、世間の反応などが事細かく紹介されている。しかしユリ・ゲラーのスプーン曲げ一つ取り上げても、現代科学によるスプーン曲げのメカニズムの解説はない。サイ・ババの空中からのものの取り出しについても同様であり生涯のいろいろな出来事の詳細な記載はあるが、物の取り出しのメカニズムの説明や解説はない。かつての空中からの取り出し物は小物が中心だったが最近のATB総研の報告では可成り大きい物、重量のある物、複雑なものが取り出されている。筆者はこの現象はもう間違いない事実と考えるがそれでもまだ信じられない人は信じないと思う。まさに編者が序文で述べているようにオーソドックスの科学では全く説明できない現象であるからである。

このような超常現象の解明にはオーソドックスの科学では全く説明できない現象である

以上ニュートン力学に対する量子力学のような全く新しい概念の科学の創造が不可欠と考えざるを得ない。

この種の超常現象を説明出来る新しい科学理論が出来れば現象のメカニズムが分かり応用が可能になってくる。そうなれば世の中は大きく変わる可能性が出てくる。まさに日本サイ科学会の活躍分野である。

昨年来の新型コロナウイルスにより我が国を始めまさにパンデミック状態が続いた。10月5日現在我が国では新規感染者数が急減し第5波が終息し緊急事態宣言も9月末で解除になった。新型コロナウイルスのデルタ変異株の感染力が強くそれによる第5波と考えられたが、新規感染者の急速な減少はワクチンの接種率の向上効果だけでは説明が出来ないような減少の仕方である。今後第6波が来るのかどうか?来るとしたら何時頃どんな形でくるのか興味深い関心事である。

ところでインフルエンザウイルスによるパンデミックと言えは1918～1920年にかけて流行したスペイン風邪が有名で、今から約100年前の惨事である。当時の世界人口は18億くらいで感染者数は5億人からで人口の約28%、死亡者は人口の1～2%にもなったという。

これに対し今回の新型コロナウイルスによる10月5日現在の世界の感染者数は2.2億人、死亡者数は445万人という報告がある。現在の世界人口は約78億人で感染者数で2.8%、死亡者数で約0.06%になる。100年前のスペイン風邪のパンデミックに比べ感染者数で1桁、死亡者数で2桁少ない。この大きな差は単純にはこの100年間の科学、特に医科学の進歩によると考える。

それにしても今回の新型コロナウイルスのパンデミックで強く感じたのは、上記の結果は日常生活ではもちろんのこと全産業にわたりマスクの着用、3密の控え、特に飲食業に対しては業務や活動が大きく制限されたり中止したりして達成された結果であり対策法は100年前とあまり変わらないのではないかということだった。やはり企業活動がコロナ前



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

科学や科学技術の進歩・発展について ・・・新型コロナ禍の中で考える

日本サイ科学会理事長 久保田 昌治

科学や科学分野には自然科学を始めとして社会科学あり人文科学その他がある。自然科学とその他の科学の大きな違いは自然科学では積み重ねが効くというか出来るということではないかと考える。前の研究者の研究成果の上にさらに新しい成果を積み重ねていく。これが科学の進歩であり発展である。これに対し例えば人文科学に属すると思われる例で言うと、有名なモーツァルトの音楽と優れたベートーベンの音楽を積み重ねたらもっと優れた音楽が出来ても良さそうに思われる。しかし実際にはそれが不可能に近くその人一代で終わりまた新しく始まる。積み重ね係数がゼロか有っても極めて小さいのである。そのため現在もモーツァルトの曲もベートーベンの曲も共に残り引き継がれている。第1次世界大戦で戦争の悲惨さが良く分かったにもかかわらず第2次世界大戦を起こした。2回あることは3回あると言われるが第3次世界大戦が起こらないという保証は何処にもないのが現状である。

何分にも積み重ねが効かないために一代で終わり、また新しく生まれ次の代が始まる。自然科学以外の科学分野で積み重ねが可能になれば人類の未来は大きく変わるし変わり得ると思う。

日本サイ科学会のサイとは何か、日本サイ

科学会は何を研究し何を守備範囲にしているのか、あるいは日本サイ科学会は何をすることでかと問われた時に明確な回答に窮することがあるという話を良く耳にして来た。これに対し日本サイ科学会はHP上でも述べているように超常現象の研究が一つの大きなターゲットと考えている。

ところで最近超常現象をまとめた興味深い著作に巡りあった。それは今から約30年前、我が国で1994年に出版された「超常現象の事典」である。原著は1990年にロンドンのマクミラン社より出版されたLynn Picknett 編纂の「The Encyclopedia of the Paranormal, the Complete Guide to the Unexplained」の関口篤による完訳である。しかし何故か訳本では事典になっているが原本はEncyclopediaであり、一般的には「超常現象の百科事典」になるかと思う。少なくとも原編者のLynn Picknett女史は序文で百科事典という視点で編纂したことをはっきりと述べている。

いわゆる百科事典とは小生以前「水の百科事典」(丸善1997)の編集に関わった時に水関係で何か裁判問題などが出たりした時は重要な参考資料として利用されることがあると言われたことがある。小文字で2段組600ページからのもので百科事典というに相応しいボリュームである。この序文でLynn Picknettは「超常現象」と「オカルト現象」は全く異なる